

会議録要旨

(1) 会議の名称	第2回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会
(2) 開催日時	令和元年5月29日(水) 19:00~21:00
(3) 開催場所	アルプラザ 4F 多目的ホール
(4) 出席委員氏名	南保委員、下川委員、西藤委員、石原委員、岡本委員、山田委員、美濃委員、大塚委員、平井委員、河端委員、三田村委員、酒井委員、龍田委員、小川委員、長谷川委員
(5) 欠席委員氏名	なし
(6) 出席所管課職員氏名	福井県 交通まちづくり課 西野課長、産業政策課 久世参事 企業誘致課 谷川参事、観光営業部 藤原企画参事 都市計画課 白崎参事 越前市 企画部 大蔵部長、藤原理事 建設部 伊藤部長、平野理事 建設部兼企画部 吉村特命監、 建設部 辻岡理事 まちづくり・総合交通課 坂川課長 産業政策課 諸山課長、商業・観光振興課 黒田課長 都市計画課 三田村課長、江端副課長、廣瀬主幹
(7) 会議議題	まちづくり計画の方向性と可能性調査の実施について
(8) 傍聴者の数	12名
(9) 会議資料名称	第2回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会資料

(10) 会議の内容
の要旨

(説明事項に対する主な意見)

○計画の方向性

- ・道の駅の計画とどのように整合性を図るのか
- ・丹南の他市町の意見を聞いてはどうか
- ・市全体に対する南越駅周辺の役割を明確にする必要がある
- ・中心市街地との区別や交通アクセスなどの重要な課題がある。
- ・歴史や文化からの観点と、経済の利点からの観点とどちらに軸足を置き議論するかがポイントになる
- ・北側48haだけでなく南側も含め相互補完的に考える必要がある。
- ・実現可能ならどんな施設でもいいというわけではない
- ・駐車場は2,000台必要
- ・虫食いの開発は望まれない
- ・開発の優先区域の設定とそのメリット、デメリットについて
- ・当分10年間は農業と開発が共存できる地域整備でなければならない
- ・農村地帯であるため、農村体験型宿泊施設、農村公園等を検討して頂きたい
- ・民間企業はスピード感が重要、行政もそれに応えないといけない

○各委員等からの提案について

- ・全天候型のドームは、整備費や運営費がかかる
- ・場外サッカー場は、プロのチームが1年に1回くるかどうか、東運動公園を利用すればよい
- ・負の遺産にならないようにしていかないといけない

○計画策定支援・市場調査業務について

- ・これまでの意見が無駄にならないようにしなければならない
- ・受注業者も地元の意見を聞く場に参加してほしい